

《平成28年度》

地区教育懇談会まとめ

(小学校適正規模等検討委員会答申に基づく具申内容説明及び地区懇談会)

1. 開催及び参加状況

開催地区	開催日	時 間	参加者の居住地区					
			睦合	栄	富河	万沢	町外	合計
睦合地区	11/17(木)	19:30～20:41	20	4	1	2	2	29
栄 地区	11/18(金)	19:30～21:06	4	14	0	3	1	22
万沢地区	11/22(火)	19:30～21:26	3	1	1	46	2	53
富河地区	11/25(金)	19:30～21:41	5	1	21	4	1	32
合 計	4回		32	20	23	55	6	136

※「町外」は、新聞記者や教職員等でした。 23.5% 14.7% 16.9% 40.4% 4.4% 100.0%

※「参加者」には教育委員を含みます。数名の複数回出席者をカウントしていますので合計数は延べ人数です。

開催地区	性 別		年 代 別							
	男	女	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80以上
睦合地区	25	4		3	1	5	9	8	3	
栄 地区	17	5		2	2	5	2	11		
万沢地区	41	12		5	13	11	6	13	5	
富河地区	31	1		3	5	2	9	13		
合 計	114	22	0	13	21	23	26	45	8	0

2. 懇談会の内容

- ①南部町教育大綱の概要と趣旨説明
- ②小学校規模等検討委員会答申に基づく具申内容説明
- ③PTA懇談会の内容と結果説明
- ④小学校の現状と取り組みを写真で紹介
- ⑤南部町の将来人口推計について説明
- ⑥質疑応答及び意見発表

【発言者に留意いただいたこと】

発言者の率直なご意見をいただくために、以下の約束をお願いしました。

- ・人の意見を批判しない。
- ・自説を押し付けない。

3. 発表された意見の内容

【睦合地区】

意見 学校統合に向けて動き出す、しかるべき時期が来ていると思う。

意見 小さい自治体が消滅するかもしれない問題は、一極集中を容認してきた国の施策に問題がある。地方から声を大にして地方の衰退に歯止めをかけるよう国に働きかけていくことが必要だと思う。

質問 今後の適正化に向けての日程等は？

回答 富河・万沢小学校については、平成33年開校を目途に地域の理解をいただくよう努める必要があるが、そのための期間は最長で3年と捉えている。その後、地域の合意が得られたと判断した段階で事務手続きを開始することになるが、事務手続きには約1年半必要となる。
睦合・栄小学校については、富河・万沢小学校の帰趨が明確になってから検討に入ることを考えているので、平成31年か32年頃には学校の位置を含めた検討委員会を立ち上げることを考えている。

説明 教育委員会では、まず最初に4つの学校ごとにPTA懇談会を開催したが、その際留意したことは、当事者意識を持って適正規模問題を考えていただくことだった。また、KJ法という手法を用いることにより自由に意見交換ができるよう配慮した。

この懇談会を通して感じたことが二つある。

一つは地域により関心度に差があったことである。教育委員会の方針を理解していただくために、まずは地域・保護者の皆様に関心を持っていただくことが肝要だ。また、皆様が無関心のまま事を進めるようなことは、あってはならないと考えている。

二つめは、教育委員会の方針を受け入れられないというご意見をいただいたことだが、丁寧かつ誠実に説明を続けることによりご理解いただくよう努めることが求められる。

今後も皆様のご理解をいただくために、こういった資料を準備する必要があるか検討を重ねて、説明させていただく機会を設けていく。

【栄地区】

意見 アンケート回収数は718人で、人口の10分の1近い人の意見が寄せられたことになる。結果は50%以上の人が統合に賛成だったが、20～30%の人は存続を希望しており、その理由として「細やかな指導が望まれる」とか「子ども、教職員、保護者が三者一体となって教育を進めていけるのではないか」といった貴重な意見もある。

事は進んでいるとは思いますが、ボタンの掛け違いのないよう、皆さんの意見を大切にしながら進めていただきたい。

説明 教育委員会の方針は具申書のとおり。ただし、その中には保護者や住民の皆さんの十分な理解と合意を得た上で進めることと明記してある。しかし、少人数学級で学ばせたいというご意見も確かにあり、そういったご意見を大切にしなければならないが、小規模化は年々進んでいるのが現状だ。そんな中、子ども達の学ぶ環境、成長していく環境はどのような環境が適切なのかという一点で、具申書に示した案へのご理解をいただくことに努める。

皆様のご理解をいただくために、来年もこのような機会を設ける予定であり、必要であればその先も設ける考えだ。今後の資料作成には、皆様からいただくご意見がとても貴重なものとなる。多様なご意見、より多くのご意見をいただきたい。

質問 気持ちとしては存続を望むが、時代の趨勢で致し方ないという考えもわかる。統合するとした場合、学校の位置はどうなるのか、大きな学校へ吸収合併されるのか、中間地点にはできないか？また、災害時の対応などを考慮した学区の再編はされるのか？

回答 富河・万沢小学校の統合については富河小学校を使い、睦合・栄小学校の統合についてはこれから検討する。また、学区の再編については、睦合・栄小学校の統廃合の際、町内全域の通学区の在り方を見直す。

意見 人口減少の推計にショックを受けた。万沢小学校は子どもが減ってしまい残念だ。町も住宅政策などを展開しているが人口を増やすことは難しい。

子育て世帯の親は、小規模校へ入学させるのは寂しいという理由で富士宮方面へ転出してしまふということが現実にあった。教育委員会は、そういう人たちの気持ちをよく聞いたうえで、実際の事例などを保護者に説明し、皆で地域を考え、町を存続させるためには広い視野が必要だと気付いてもらうことが大事だ。よって統合には賛成だ。最終的には町内1校が望ましいと思う。中学校は1校にしてよかったとの声もある。

小学校の保護者の意見を聞いたようだが、当事者となる保育所や幼稚園の保護者やもっと若い人たちの意見を聞くべきだ。

質問 最近、地域の連携で転入による万沢小学校児童の増といった例がある。行政は、町外からの移住受け入れのため、空き家を改修・改築するといった対策や、栄地区では「サンテラス内船」を耐震化等改修をするなどして人口増を図ったらどうか？

回答 空き家対策としては、空き家バンク制度がある。登録申請者は売買を希望する一方、町外から関心を示す方は賃貸を希望し、マッチングが難しい。この移住政策は、地域の受け入れ体制整備が不可欠であり、官民一体となった活動が望まれる。サンテラス内船は建設課管理だが、空室があれば改修して入居を募集する。

意見 PTA懇談会の出席状況を見ると、万沢地区の参加者が多く睦合や栄が少ない。統合時期が近い方が問題意識を持って参加していると思った。反対に、睦合・栄小学校は10年間統合しないのなら、PTA懇談会で「統合しない場合」の課題に挙げられた問題に取り組む必要があり、それが保護者に届くことが大事だと思う。

小規模校には小規模校のメリットがあり、少人数の方が先生一人が教える時間が多くとれる。ただ、子ども達相互の意見交換を深めたり、高めたりすることが困難になる。そこで他校との交流をうまくやることでデメリット解消につながるのではないかな。

N授業などの共同授業を行っていることを保護者は承知しているのだろうが、このような会議において、地域の方々にも知っていただいたうえで意見を求めた方が良いのではないか。小規模校には小規模校のメリットがあることをより深めてもらいたい。

意見 適正規模について、より理解を深めるためにこのような説明会は必要だと思うが、小学校の現状と取り組みについて、今日の紹介ではあまり理解できない。N授業ならN授業の良さが出ていところの映像を、もっと時間を使って紹介した方が説得力があると思う。また一方で、小規模校なりの授業の良さも映像で記録できると思う。一般の方は現場の様子をよくご存知ないのではないかと思う。

小規模校が良いのか、子ども達が多い方が良いのか、より理解の深まる映像を紹介してほしい。

【万沢地区】

質問 PTA懇談会では、万沢・富河の参加者が多く、睦合・栄が少なかった。この原因は何だと思うか。関心がないから少ないのか？

回答 4小学校において参加を強いることはなかった。睦合小が5.1%、栄小が13.6%、富河小が23.3%、万沢小が73.9%との結果は、関心の高さの違いと見た。

質問 適正規模についてはわかったが、適正配置について説明を願う。

回答 適正配置の考え方は、数の問題にかかわるが、旧富沢地区、旧南部地区にそれぞれ1校という考えだ。

質問 現在、保育所は統合済みなので、保育所を卒園すると小さな学校にそれぞれ分かれる。子どもが成長するにつれて大きな規模に属していくのが良いと思うが、そういった配慮も含めて検討を進めてほしい。

回答 それぞれの状況を把握しながら、皆に納得してもらえようなかたちで検討していく。

意見 万沢地域の考えだ。見守りをして13年になる。あいさつの指導をしたり、トイレを借りてやったりといった見守りをしてきた。平成23年に中学校が統合され、野球の声や吹奏楽の音などが消え、とても寂しくなった。今も6〜7人で大事な子ども達の見守りをしている。万沢小学校児童の声が聞こえる良い風景だ。小学校の存続を望む。

質問 統合時期が、富沢地区は平成33年、南部地区は平成38年と示された理由を聞きたい。また、プールのない睦合小学校は老朽化が進んでいるのではないか、富河小学校も老朽化しているのではないかと思うが、学校の建て替えはあるのか。

回答 子どもの数は、既に減少してしまっているが、皆様のご理解をいただく時間を考えて5年後を設定した。南部地区は、栄小学校はまだ複式学級対象になっていないが、減少が見込まれるので10年後を目途にした。

学校施設老朽化については、全国でインフラ老朽化が問題化しており、施設改修に関する国の補助が十分といえない状況だ。耐震基準は満たしているが、改修が必要な部分は優先順位をつけながら進めていかねばならないと考えている。

質問 統合するに当たっては、校舎を建て替え、ITに力を入れるなど魅力ある学校を造ってもらいたい。

回答 「この町に住む」ことを選択していただく条件として、教育環境は重要だ。学校IT(ICT)環境整備を進めている。校舎については、事業費が大きいのでここで回答はできない。

意見 転校してきた孫は、小規模校に来ることによって自分の意見を言えるようになった。田舎の良さは、とてもたくさんある。大きな学校では、受け持ちの先生以外と会話する機会があまりないが、万沢小学校では校長先生を始め、きめ細かに見てもらい「田舎は良いね」と言って生き生きと生活している。万沢小学校は昔よりさらに素晴らしくなっている。知人に紹介したところ、関心を示した。統合しないで存続してほしい。

質問 私の孫も小学校に就学することになるが、今の状況では少人数過ぎて弊害があると思うので統合には賛成だ。近くに十島地区があるので、万沢・富河小学校統合時に編入したらよいと思う。

回答 統廃合後の学区については、睦合・栄小学校の統合時に見直すことになっている。

- 意見 小学校適正規模等検討委員会の委員だった。当時、保護者の意見として統合反対の署名を教育長に提出したが、委員会の答申は今の形になっている。統合には反対だ。
- 意見 町の収入である普通地方交付税交付金の算定には、学校数や児童数が使われる。また、旧富沢町地区では、公有林で出た収益は教育に使うとされているが、活用されていない。そういったものを使えば給付型奨学金といったような特色ある教育予算ができる。
他自治体では、万沢小学校より少人数でも存続している学校がある。
- 意見 ひいらぎ子応援団の団長だ。主に万沢小学校の良い所をPRして人を呼び込む活動をしている。今年度転入実績が数件あり、来年度も何件か見込まれている。皆で取り組めば人口増加は実現できるので、そういった努力が必要と考える。
統合は反対だ。万沢小学校の良さが伝わっていない。児童の全員集会を何度も開くことによって多様な意見を引き出すことができたし、工夫次第で小規模校のデメリットは解消できる。
昨年は、PTAによる会議を何度も開催し、PTA全員による署名を集め統合反対の請願書を提出した。中学校が統合して良かったという意見があるが、一方で送迎などの保護者の負担増に対する悲鳴が上がっている。
万沢小学校は、教育大綱にある「ふるさとを愛し、ふるさとに誇りをもち」といった教育を実践している。こういった取り組みをぜひ皆さんに見てもらいたい。少人数だとコミュニケーション能力が育ちにくいと言われるが、学年の垣根を取り払い、縦割りによる授業により意見を発表する力が付くし、リーダーシップも育つ。そこのところをご理解いただきたい。
他自治体では、少人数でも統合せず存続させている例がいくつもある。そういった資料も示してもらいたい。また、町も教育委員会も人を呼び込む取り組みをしてほしい。
- 説明 請願書については、受理し、教育委員会で説明し、小学校適正規模等検討委員会でも議題として取り上げた。その結果が統合時期を5年後、10年後といった答申・具申内容に反映されたことをご理解いただきたい。
- 意見 小規模校の良さを挙げればたくさんあると思うが、あまりにも人数が減った学校よりは、ある程度人数が集まった学校の方が良い。アンケート結果は統合を望む声が多い。さらに将来人口推計を見ると、20年後には町内1校で足りるくらいまで減ってしまう。それらを踏まえ、地域のしがらみを超えて町の将来を考えることが必要だ。
私も人口増加に取り組んでいるが、人口増加策と学校適正規模問題は切り離して考えるべきだと思う。
- 意見 人口増加対策は必要だと思う。
娘は小規模校から統合後の中学校に進学し、大勢の中で学ぶ楽しさを感じたようだ。小規模校の良さも本当だし、統合の良さも本当だと思う。
- 意見 先日、ひいらぎ祭に参加した。子ども達の成長した姿に感動した。教育委員会の方々にもこういった行事はぜひご覧いただきたい。
- 質問 そもそも、何故どこから統合という問題が出たのか。何のための統合なのか？
- 回答 過小規模校ができ、町全体の子どもの数も減少している現状を踏まえ、この先どういった学校のあり方が望ましいか考えなければならない時期が来たため、小学校適正規模等検討委員会に諮問した。端緒は町議会において少人数化による学校小規模化が問題提起されたことだ。
- 説明 教育委員会は、皆様が無関心のうちに統合が進んでいくことがあってはならないと考えている。多くの方々に関心を持っていただき、議論がつくされて合意形成に向かう形を理想とする。本日のような機会は、我々にとって非常に貴重なものとなる。
万沢地区は、地域と学校の繋がりが非常に強いと感じた。学校が地域からなくなるというのは、地域にとって悲しいことかもしれないが、教育委員会では地域と学校を太いパイプでつなぐようなシステム構築が必要と考えている。
今後の予定としては、来年も関心をもっていただく機会を設けることを考えている。要請をいただければ、会場に出向くことも計画する。

【富河地区】

- 説明 教育委員会は、関心が低いまま統合が進むようなことがあってはならないと考えている。多くの方に関心を持っていただき、様々な角度から意見をいただき、議論を重ねた上で、具申内容を認めていただくよう願っている。

地域によって関心の度合いが違うが、関心を高めていただくために、出前のように先方に出向いて話をさせていただくことも考えている。ご発言いただければ、それを貴重なご意見として今後の資料で活かしていきたいと考えている。いろんな角度からご意見をいただきたい。

意見 中学校の音楽発表会に出席した際、少人数化が進んでいることを実感した。発表会終了後の学年懇談会で学年全体の学力が低いということを知らされた。学力の低下は、何らかの問題があって地域性があるのかといった疑問を持つ。さらに、小学校でも同じような状況になっているのではと心配する。原因を究明して対策を講じていただきたい。

説明 学力向上については、学校、教育委員会で重要課題として取り組んでいる。文部科学省の学力テストでは平均以上あるいは平均と同等といった結果を出している。結果も重要だが伸び率にも注目しており、心配された学年が、その後の頑張りで成果を上げることもある。今後の取り組みにより伸びていく姿を見ていく必要がある。

小学校についてだが、適正規模の問題と併せてICT環境の整備などといった学習環境整備を進めていくことが必要となっている。

質問 スポーツ少年団も活動維持のための統合が進んでいるようだ。スポーツにおいて小学校から中学校、さらにその先へと継続できる、つながる仕組み作りはできないか？

回答 子ども達にとってスポーツは大きな要素だ。中学校の部活動は文部科学省の管轄下で教育課程に位置付けられている。小さな中学校では部活動だけでは多様なニーズに応えきれず、保護者はその機能を学校外に求めている。南部中学校がスポーツで優秀な成績を収めるのは、時間をかけて練習に励んだ成果だ。反面、スポーツに熱心に取り組むことが生徒の多忙化を招く結果となり学習時間を圧迫する問題も孕む。理想とするのは、1つにこだわらずスポーツの楽しさを知り、生涯にわたってスポーツを楽しむことができるような教育の実現だ。総合型地域スポーツクラブで取り組んでいくことになるだろう。

意見 町内には、プロスポーツ選手になった人が何人かいる。学校でそういった人の話を聞く機会を設けるのも良いのではないか。

回答 富河中学校での講演を聞いたことがあり感銘を受けた。優れたアスリートの姿から生き方を学ぶことは子ども達にとって大切なことだ。

質問 今、南部町では小中学生を対象に月2回「なんぶ未来塾」を開いていただいている。これまで成果とか検証はされているのか？先ほど学力について発言があったが、効果があれば回数を増やしていただくなどの検討がなされるのかと思う。

回答 富沢地区の中学生は、全部で15人程だが平均で10名程度が参加している。時間は1時間30分。自分の意志で参加しているので意欲を持っている。効果があると認識している。多くの生徒の参加を期待している。

回答 南部地区の小学生は、自主学習により、わからないところに手助けに入るといった形態で進めている。時間は1時間30分。手助けを必要とする児童がもう少し増えたらと思う。復習が主だが、先に進んでいる児童もいる。効果の検証は特にしていないが、取り組む様子からはレベルの高さを感じる。

質問 PTA懇談会資料で、富河小学校のPTAから「万沢地区の衰退」が最重要課題として挙げられ、課題解決のアイディアに「万沢地域で学習」とあった。このことについて詳しい説明を願う。

回答 その時の参加者がこの場においてなので、直接ご説明願う。

回答 統廃合という問題は、どちらか一方の考えではいけないと思う。お互い交流しながら地域で支え合っていく学習の形態を推し進めていくこと重要だと考えた。交流しながら地域を盛り立てることが大切だ。

意見 統合というのは、受け入れる側は大きな不満が出ず、廃校となる側は衰退など負の影響を嘆くことになる。しかし、町全体を考えたら厳しい時代が迫っており、皆で一つになって取り組み、時間をかけて意見を出し合って、納得したうえで決めたことが、その後の町の繁栄につながるように願っている。先程の富河地区の言葉は、自分たちの地域だけのことでなく、町全体、相手のことに目を向けてくれたご意見として感動した。

子どもの数が少なくなり、スポーツに取り組む際も選択肢が少なくなっている。よりハイレベルな環境を求めて町外のクラブに通う子もある。町内でできる環境が整備されれば良いと思う。また、運動と勉強の両立にも地域ぐるみでの取り組みを期待する。

- 意見 万沢地区に続き、富河地区の懇談会に参加したが、かなり温度差があると感じた。万沢地区ではPTAを始め見守り隊や地域の人が存続を求める意見が多かった。確かに学校が無くなれば過疎化に拍車がかかるだろう。中学校が無くなった時、地域が静まり返ってしまった。
少子化により、近い将来統合は避けられないと思うが、万沢地区の人たちには少しでも長く存続させたいという意見がある。しっかり議論し、彼らの理解を得た上で進めるべきだ。
懇談会を地区別に開催しているが、それだと他地区の意見を聞くことができない。多様な意見が出し合え、聞けるよう全体で開催することを望む。
- 説明 ある程度、保護者や地域への説明ができた時点で意向調査をし、客観的な数字をつかむ必要性を感じている。
その前に、じっくりご意見をいただく機会を数多く設ける予定であり、ただ今のご意見のように町内全域の皆様にお集まりをいただく、或いは小さな集まりに出向いていくといった様々なやり方で議論を深めたい。
- 質問 万沢小学校は、小規模のまま継続しているが、規模の大きな学校に就学させるため、県外に転出した例がある。そういった例があることも踏まえていただいて検討されたい。
ところで現在、南部町では学区がどうなっているか？
- 回答 学区はあるが明文化されていない。町内が地理的に明確に区分けできているためだ。国や県の流れとしては「弾力化」傾向だ。これはいじめなどの問題に柔軟に対応できるような配慮からだ。
- 意見 町外への転出を防ぐという意味でも、学区を取り払うという選択肢もあるということを視野に入れてほしい。4校を一つにまとめるべきだと考える。
- 説明 規律維持のため、学区は堅持する。学区を弾力化することにより、櫛の歯が抜けるように人数が減り、学校が消滅してしまうような施策はとらない。
統合というのは、ひとつの融合であり、それぞれの伝統の良さが融合して新しい学校を創るという考えだ。学区を自由化したことにより、ある学校が児童減でぐずぐずと形の無いようなままで統合するというのは、お互いの伝統を融合させて新しい学校を創ることと結びつかない。
- 意見 町の政策として、先に保育所を統合したことは、消滅を誘導しているのではないかと勘繰ってしまう。保育所で仲良くなった子ども達が、就学で2校に別れなければならないところに矛盾を感じる。仲良くなった万沢の子から富河小学校に行きたいという声が出ることは当然だと思う。
- 説明 現在、南部中学校では「コミュニティスクール」という事業に取り組んでいる。通常、学校長が学校経営を示して運営していくわけだが、この制度は学校経営に対して、それぞれの地域から委員が参加して意見を出し、地域全体で学校を支えるというもの。つまり、地域から学校が無くなっても地域と学校を太いパイプでつなぐシステムであり、より効果的なつながりとして、今後さらに研究検討を進めることを報告させていただく。
- まとめ 保護者、地域への第1回目の懇談会であり、資料をさらに精査する必要がある。また、懇談会の形式も検討を要する。
次回に向けては、子育て環境整備という視点から教育委員会外との調整も重要になる。